



平成 28 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社クレステック
代表者名 代表取締役社長 高林 彰
(コード番号 7812)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 三輪 雅人
電話番号 053-435-3553

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 2 月 10 日に公表しました平成 28 年 6 月期通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 28 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,724	百万円 580	百万円 484	百万円 213	円 銭 65 円 91 銭
今回修正予想 (B)	15,724	512	352	213	66 円 77 銭
増 減 額 (B - A)	0	△67	△132	0	
増 減 率 (%)	0.0%	△11.7%	△27.3%	0.0%	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 6 月期)	14,733	650	729	398	137 円 14 銭

2. 修正の理由について

連結売上高は既存取引の売上の減少を補う新規取引の増加などにより、平成 28 年 2 月 10 日に公表した通期の連結業績予想の修正はありません。

連結営業利益につきましては、国内では株式市場の低調を踏まえた退職給付に係る年金資産の減少により、追加的に退職給付費用が平成 28 年 2 月 10 日に公表した通期の連結業績予想に比べ 30 百万円増加することを予想しており、通期では 136 百万円（前年同期比 430.3%増）となることを予想しております。また、フィリピンでは倉庫の改装工事の許可が遅れたことによる損失発生は終息しましたが、価格競争も厳しくなっていること、配送手配や輸送に関わる費用などが増加していることを受け収益性が悪化しています。

来期は売上増加による固定費負担の損益分岐点のクリアと、配送手配や輸送に関わる費用などの変動費の圧縮で収益性を上げていく方針にあります。

上記の理由により、連結営業利益は 67 百万円減少（11.7%減）の 512 百万円に修正いたします。

連結経常利益につきましては、足許の為替相場の状況を踏まえ為替差損が平成 28 年 2 月 10 日に公表した通期の連結業績予想に比べ 82 百万円増加を見込んでおり、通期では 107 百万円（前年同期は為替差益 155 百万

円)を予想しております。期末の想定レートは1ドル108円を想定しています。連結経常利益は連結営業利益の減少による67百万円減少(11.7%減)と合わせ、352百万円に修正いたします。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、累積損失のある子会社での来期以降の収益改善を見込んでおり、繰延税金資産の計上が可能となることなどを踏まえ、平成28年2月10日に公表した通期の連結業績予想の修正はありません。

※ 本資料に記載されている当社の業績予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上